

施策評価シート【分野別施策】

施策名			関係部				
2-⑧	災害に強いまちづくりを推進する		まちづくり政策部、土木部				
所管事業に関連する成果指標							
指標名	単位	計画 策定時	実績値				目標値 31 年度
			27 年度	28 年度	29 年度	30 年度	
緊急輸送路等にかかる橋りょうの耐震化進捗率	%	50	50	57			70
国道に埋設されている公共下水道施設の耐震化進捗率	%	13	13	13			29
建物の耐震化に関する補助制度周知数（年間）	回	8	9	16			15
土のうステーションの設置数	箇所	9	11	11			12
関連事業							
○建物の耐震性向上促進事業○橋りょう震災対策事業○公共下水道整備事業○公共下水道管路地震対策事業							
決算額							
	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度			
事業費（千円）	1,060,325						
執行率（%）	81.49						
施策の推進に向けた主な取組の「成果」							
●東橋ほか1橋の落橋防止装置設置工事、大縄橋ほか2橋の耐震補強設計及び小川跨線橋の概略設計を行い、震災時における落橋の防止対策を実施しました。 ●公共下水道の管路地震対策について、国道1号の交通協議を行い、ボックスカルバートの布設替えを行いました。また、国の耐震指針の改正に伴い、修正設計を行いました。 ●平塚市総合浸水対策基本計画の重点対策地区に位置づけられている岡崎、横内、須賀、新町地区の雨水管渠工事を1,047m発注し、その内633mを完了しました。 ●居住用建築物の耐震診断及び改修工事に係る補助制度について、広報紙への掲載、各種イベント及び住宅耐震相談会等の周知活動を16回行いました。また、耐震診断43件、耐震改修13件の補助金を交付しました。							

施策を推進する上での「課題」	課題解決を図るための「取組方針」
●緊急輸送道路等に架かる橋りょうについて、耐震補強を進める必要があります。また、埋設されている管渠の耐震化は、長寿命化事業と連携して行う必要があります。 ●限られた財源の中で、被害の状況や原因に対応した浸水対策を実施する必要があります。 ●建物の耐震化を進めるためには、補助制度等のPR活動を通じて、耐震化の必要性について市民の理解を促す必要があります。	●地震による落橋を防止するため、緊急性、必要性を勘案して設計委託や補強工事を行います。また、下水道総合地震対策計画に基づき、事業の効率化を踏まえ、管路の耐震化を進めます。 ●緊急かつ効率的に浸水被害の軽減を図るため、総合浸水対策基本計画に基づく対策工事や実施設計を行います。 ●住宅耐震化の啓発活動として、住宅耐震相談会等の実施とともに、職員による木造住宅への戸別訪問を行います。